

建築一般構造(Introduction to building Construction)

担当教員名	八木 雅夫、荘所 直哉、角野 嘉則	
学科、科目詳細	建築学科 1年 通年 専門科目 必修科目 2単位 講義・演習	
学習・教育目標	(D)(F)	
科目の概要	建築物がどのようにして建っているかを学習するとともに、建築の基礎的な専門用語を理解する。また関連する諸分野の事項への関心を高めていく。演習を通じて、実践的な知識や技術の理解を深める。	
テキスト(参考文献)	内田祥哉、他：「建築構法第五版」市ヶ谷出版 日本建築学会編著：「構造用教材」丸善	
履修上の注意	建築に関する基礎的な専門用語を確実に理解出来るように努力する事。建築や都市、環境に関する日常得られる情報に関心を持ち、自分の考えをきちんとまとめられる力を身につける事。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	(1)前期は試験(40%)及びレポート(60%)により評価する。 (2)後期はレポート(60%)及び取り組み状況(40%)により評価する。 前期と後期の割合はそれぞれ50%とする。 以上を総合的に評価し60点以上を合格とする。	
連絡先	yagi@akashi.ac.jp, shojo@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 建築を学ぶための心がまえについて	
第2週 建築構造の方式と種類	
第3週 建築物への荷重と外力、鉄骨造(1)-材料としての鋼材の基礎的特性	
第4週 鉄骨造(2)-鋼材を使用した構法	
第5週 鉄筋コンクリート造-鉄筋コンクリートの構造原理を知る	
第6週 PC構造、鉄骨鉄筋コンクリート造、組積造	
第7週 前期前半のまとめと演習	
第8週 中間試験	
第9週 木造(1)-木造建築をビデオで視覚的に学習する	
第10週 木造(2)-森林資源に関する基礎的知識、木質材料の特性	
第11週 木造(3)-木を用いた構法の基礎	
第12週 木造(4)-木質構造の耐震性	
第13週 木造(5)-木質構造の接合部、継手や仕口の模型に触れる	
第14週 木造(6)-壁量計算の基礎と演習	
第15週 前期のまとめと演習問題	
期末試験	
第16週 演習内容(3課題)の概要説明	
第17週 演習1-1:演習1(セメントを用いた構造模型の作成)の課題説明と予備講義	
第18週 演習1-2:セメントモルタルの強度実験	
第19週 演習1-3:セメントモルタルの強度実験	
第20週 演習1-4:セメントモルタルを使った小型の構造部材模型の作製	
第21週 演習1-5:セメントモルタルを使った小型の構造部材模型の作製	
第22週 演習1-6:セメントモルタルを使った小型の構造部材模型の作製	
第23週 演習1-7:セメントモルタルを使った小型の構造部材模型の強度実験	
第24週 演習内容(2課題)の概要説明	
第25週 演習2-1:演習1(プレゼンボードの作成)の課題説明と予備講義	
第26週 演習2-2:調査先の先行調査と企画	
第27週 演習3-1:プレゼンボードの作成	
第28週 演習3-2:プレゼンボードの作成	
第29週 演習3-3:プレゼンボードの発表資料の作成	
第30週 演習3-4:プレゼンボード・企画書等の提出	
期末試験実施せず	